

宮崎市青島ビーチセンターの指定管理者候補者の選定について

宮崎市青島ビーチセンターの指定管理者については、次のとおり候補となる団体を選定しました。

なお、選定された団体を指定管理者とする議案が、令和元年12月議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

1. 指定管理者候補者の概要

(1) 団体の名称

渚の交番青島プロジェクト実行委員会

(公益社団法人宮崎市観光協会＋特定非営利活動法人宮崎ライフセービングクラブ)

(2) 代表者名

渚の交番青島プロジェクト実行委員会 会長 菊池 克頼

(代表構成員) 公益社団法人宮崎市観光協会：会長 菊池 克頼

(構成員) 特定非営利活動法人宮崎ライフセービングクラブ：理事長 小玉 順規

(3) 主たる事務所の所在地

宮崎市観光協会：宮崎市錦町1番10号宮崎グリーンズフィア壱番館3階

宮崎ライフセービングクラブ：宮崎市小松台東一丁目16番地11

(4) 設立年月日

宮崎市観光協会：平成11年4月1日

宮崎ライフセービングクラブ：平成18年6月26日

(5) 設立目的

宮崎市観光協会：

宮崎市及びその周辺の地域との緊密な連携のもと、観光客誘致宣伝を推進するとともに観光客の受入体制の整備を行うなど観光に関する事業の振興を図り、もって、地域経済の発展と地域文化の向上に寄与することを目的とする。

宮崎ライフセービングクラブ：

水辺の事故防止と安全思想の普及、ライフセービングの知識と技術の向上、ライフセービング活動を通じての青少年の育成および行政機関との協調に基づき地域安全活動を行うことを目的とする。

(6) 事業概要

宮崎市観光協会：

- 1 観光地の紹介宣伝及び観光客の来訪の促進を図ること。
- 2 観光客の受入体制の充実を図ること。
- 3 観光に関する情報の収集及び調査研究を行うこと。
- 4 観光関係従事者の資質の向上を図ること。
- 5 観光行事の実施及び協力すること。
- 6 観光案内及び情報の提供を行うこと。
- 7 観光に関する社会的意義を高めること。
- 8 観光関連団体と連絡協調し、総合的かつ効果的な観光振興を図ること。
- 9 特産品、土産品等の宣伝及び育成を行うこと。
- 10 観光ボランティアの育成及び体制の整備を図ること。
- 11 旅行業法に基づく旅行業
- 12 その他協会の目的達成に必要な事業を行うこと。

宮崎ライフセービングクラブ：

- 1 ライフセービング活動としての水辺の監視・救助活動事業
- 2 ライフセービング活動に関する資格認定事業
- 3 青少年・児童に対するライフセービング活動としての水辺の安全・教育事業
- 4 ライフセービングの競技事業
- 5 ライフセービング活動としての環境保全事業
- 6 ライフセービング活動に関する広報・啓発活動事業
- 7 ライフセービング活動における国際交流事業
- 8 その他、この法人の目的達成に必要な事業

(7) 資本金又は基本財産

宮崎市観光協会：0円 ※公益社団法人のため

宮崎ライフセービングクラブ：0円 ※特定非営利活動法人のため

(8) 従業員数

宮崎市観光協会：25人

宮崎ライフセービングクラブ：35人

2. 指定期間（予定）

令和2年4月1日から令和5年3月31日まで（3年間）

3. 施設及び業務の概要

(1) 施設概要

① 施設名

宮崎市青島ビーチセンター

② 所在地

宮崎市青島2丁目233番地

③ 施設規模等

敷地面積 327.1平方メートル

施設 ア 事務スペース兼多目的スペース

・消防設備1基、AED1台、バリアフリースイレを含む

イ 医務室

・エアコン1台、診療台1台を含む

ウ 更衣室

・男女ともに各1区画並びに洗面スペースを含む

エ シャワー室

・コイン式冷水シャワー、コイン式温水シャワー

オ 倉庫

カ 倉庫兼スタッフ控え室

キ コインロッカー

ク ウッドデッキ（屋外に隣接）

ケ 自動販売機スペース（3基分）

コ その他指定管理者が設置するもの

(2) 業務概要

① 海岸利用者の休憩等のための施設の提供に関する業務

② 海岸利用者が安心して海岸を利用するために必要な情報の提供に関する業務

③ 地域の振興に関する催し等の参加者の交流のための施設の提供に関する業務

④ 観光情報、イベント等情報その他の情報の提供に関する業務

⑤ ビーチセンターの利用の許可に関する業務

⑥ ビーチセンターの利用に係る料金に関する業務

⑦ ビーチセンターの施設、付属設備及び備品の維持管理に関する業務

⑧ 上記に掲げるもののほか、宮崎市青島ビーチセンター条例第1条に規定する目的を達成するために必要な業務（マリンスポーツの普及に関する業務等）

(3) 現在の管理方法

指定管理者 渚の交番青島プロジェクト実行委員会

（平成27年4月1日から令和2年3月31日まで）

4. 事業計画の概要

【管理運営に関する考え方】

募集要項の中で示す「管理・運営に関する基本的な考え方」を理解し、市が設置する公の施設を管理する者という認識を常に持ちながら「海岸利用者の利便性の向上」「観光及び地域の振興」を基本コンセプトに快適で質の高いサービスを利用者（＝お客様）に提供する。

(1) 管理運営にあたっての基本方針（事業コンセプト）

- ・ 海岸の安全性を守る通年による活動（ビーチパトロールなど）
- ・ マリンスポーツの体験教室や大会（ライフセービング大会など）
- ・ 環境調査や保護活動（漂着生物のレスキューなど）
- ・ 地域の安全を守る防犯パトロール（青パトでの巡回など）
- ・ 観光振興のための誘客イベント（体験イベント、経済効果につながる施策）

(2) 利用者サービスの向上を図る

- ・ 器材や機器の貸出しを行う。
- ・ SNS を活用した情報発信。
- ・ フリーペーパー青島ビーチセンター「渚だより」を発行。
- ・ 無料 Wi-Fi スポットを設置し、国内外観光客の利用者増加を図る。

(3) 施設の管理に係る経費の縮減を図る

- ・ これまで培ってきたマスメディアとのネットワークを生かし、新聞やニュースに取り上げてもらい、広報費を極力抑え PR 活動を積極的に行う。
- ・ 研修や自己研鑽のモチベーションをあげる取組を行う。

(4) 安定的な施設管理運営を目指し、人的及び組織体制の充実に努める

- ・ 外部講師、研修なども含めた体系的な研修教育の仕組みを構築。
人材のマルチジョブ化（多機能化）、職員のスキルアップ。
- ・ 職員全員に「ライフセーバー研修」「海の知識研究」「応急手当研修」「心肺蘇生法と AED 研修」など事件・事故に備えた研修を行う。

(5) 施設利用者へのサービス向上と安全確保を維持しながら、安全管理に取り組む

- ・ 防火管理者の配置、消防計画に基づく消防訓練及び法定点検の実施。
- ・ 海岸に「津波避難誘導看板」を設置。
- ・ オレンジフラッグの設置と普及活動を行う。
- ・ 津波避難訓練を実施する。

(6) 雇用に対する考え方

- ・ 宮崎市観光協会の就業規則等に準ずる。

(7) 環境保護及び障がい者等の福祉政策への取り組み

- ・ LED ライトの採用や消耗品の節約に取り組む。
- ・ 障がい者雇用の促進に取り組む。

※ 上記の事業計画は、あくまで指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、実際に行う事業の計画は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

5. 収支計画の概要

■収入

(単位:千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	3カ年合計
指定管理料	6,286	6,286	6,286	18,858
利用料金等	4,500	5,000	5,500	15,000
その他	14	14	14	42
収入合計	10,800	11,300	11,800	33,900

■支出

(単位:千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	3カ年合計
人件費	6,885	6,885	6,885	20,655
事務費	2,260	2,760	3,260	8,280
水光熱費	800	800	800	2,400
施設管理費	855	855	855	2,565
支出合計	10,800	11,300	11,800	33,900

- ・ 指定管理料の縮減 (H27~H31年度の1年あたりの参考金額6,700千円 R2~R4年度までの1年あたりの参考金額6,286千円 (約6.18%) 縮減)

※ 上記の収支計画は、あくまで指定管理者候補者から選定に当たり示された内容であり、最終的な収支計画 (指定管理料を含む。) は、指定後に市と当該団体との間で協議の上、決定します。

■参考

【平成30年度管理運営費収支決算】

[収入] 計11,263千円

- ・ 指定管理料6,700千円・その他収入4,563千円

[支出] 計11,263千円

- ・ 人件費6,763千円・需要費 (水光熱費等) 1,107千円
- ・ 役務費 (通信運搬費等) 508千円・報償費174千円・委託費34千円
- ・ 賃借料714千円・その他1,963千円

※上記は、指定管理者からの事業報告に基づき、市の指定管理料積算項目に再配分したものです。

【平成30年度事業実績（主なもの）】※は指定管理者の自主事業

月	事業名
平成30年6月 平成31年3月	渚の交番運営委員会※
平成30年4月～9月 平成31年1月	折生迫広場活用推進事業※
通年	みやざき元気体験プログラム※
通年	アウトドアフィットネス事業※
通年	施設利用者サポート事業（機材・機器貸し出し）
通年	地域パトロール事業※
通年	地域連携事業（渚の交番だよりの発行、ビーチクリーン※、ワークショップの開催※）

6. 選定結果の概要

(1) 公募の概況

① 応募団体

1 団体（渚の交番青島プロジェクト実行委員会）

② 募集日程

要項及び申請書類様式の配布	令和元年7月18日～令和元年8月23日
質疑の受付（第1次）	令和元年8月5日～令和元年8月9日
質疑の回答（第1次）	令和元年8月16日まで（随時）
提出書類Aの受付締切	令和元年8月23日
質疑の受付（第2次）	令和元年8月26日～令和元年8月30日
質疑の回答（第2次）	令和元年9月6日まで（随時）
提出書類Bの受付締切	令和元年9月24日
選定委員会の実施	令和元年10月10日

(2) 宮崎市指定管理者候補者選定委員会（青島参道南広場、宮崎市青島ビーチセンター）
（敬称略）

	役 職 等	氏 名
委員長	宮崎市観光商工部観光戦略課長	図師 伸一
委 員	宮崎市青島地域センター長	合原 敏幸
〃	青島地域自治区地域協議会長	小八重 一美
〃	青島再勢プロジェクト会長	長友 安隆
〃	青島観光六社会代表幹事	中内 隆俊

(3) 選定の概況

ア 選定理由

宮崎市指定管理者候補者選定委員会（青島参道南広場、宮崎市青島ビーチセンター）において、申請者からの応募書類及びヒアリングをもとに、「宮崎市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例」で定める次の基準により、総合的に審査を行った。

- ① 事業計画書に基づく当該施設の運営が市民の平等な利用を確保するものであること
- ② 事業計画書の内容が当該施設の設置目的を最も効果的に達成するものであること
- ③ 事業計画書の内容が当該施設の管理に係る経費の縮減を図るものであること
- ④ 事業計画書に沿った管理を安定して行うための十分な能力を有しているものであること
- ⑤ 安全管理に対する対応
- ⑥ 労働福祉の状況
- ⑦ 環境保護及び障がい者の雇用等の福祉政策への取組状況

その結果下記の事項が評価され、渚の交番青島プロジェクト実行委員会が当該選定基準に適合していると認められたため、当該団体を指定管理者候補者に選定した。

- ・管理運営において利用者の声を積極的に取り入れるなど利用者が身近に感じ利用できるような管理運営が期待できること
- ・海辺の安全安心を確保するためのノウハウを十分に持っていること
- ・今後の青島地域の活性化にあたり積極的な関わりが期待できる

イ 審査結果一覧

選 定 基 準	得 点
市民の平等な利用を確保できる計画となっているか。	136/150
施設の設置目的を最も効果的に達成する計画となっているか。 (重要基準) ※6 割以上 (270 点以上) 必須	400/450
施設の管理に係る経費の縮減を図る計画となっているか。	92/100
管理を安定して行うための十分な能力を有しているか。	160/175
安全管理に対する対応	44/50
労働福祉の状況	22/25
環境保護及び障がい者雇用等の福祉政策への取組状況	43/50
合 計 ※6 割以上 (600 点以上) 必須	897/1,000
(参考) 提案金額 18,858 千円 (3 ヶ年)	